

名 称	令和5年度 第2回社会教育委員会議
日 時	令和5年11月6日（月） 9時30分～11時30分
場 所	市民情報センター 2階 子育て情報室A
出席者	別紙名簿のとおり 委員14名 事務局4名
内容及び結果等	<p>1. 開会（金子課長）</p> <p>2. あいさつ （山本委員長）</p> <p>ただいまご紹介をいただきました、委員長の山本です。</p> <p>早いもので今年度もすでに11月、この社会教育委員の会議も2回目です。皆様お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。</p> <p>今月21日・22日には、関東甲信越静社会教育大会の栃木大会が開催され、鹿沼市からも委員12名が参加します。先進事例を吸収し、さまざまな意見を交わしていきたいと思ひます。</p> <p>さて、本日の会議では、上半期の公民館事業活動実績と下半期の活動計画について審議を行います。また、会議終了後には「かぬまかるた大会」の打ち合わせも行ひます。</p> <p>委員の皆様、忌憚のないご意見をいただきながら、さまざまな角度で議論して参りたいと考えております。皆様のご協力をお願いし、あいさつといたします。</p> <p>（中村教育長）</p> <p>開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、何かとお忙しい中、第2回社会教育委員会議にご出席をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今年も早いもので、残すところあと2か月を切り、朝晩には寒さを感じるようになってまいりました。風邪など体調を崩しやすい季節でもありますので、皆様もご自愛いただきたいと思ひます。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症に関する各種の規制は一旦終了し、10月にはかぬま生涯学習大学主催の「学びフェスティバル」が開催されました。市民情報センターを核とした従来の形としては5年ぶりでしたが、多くの来場者でにぎわいました。</p> <p>また、今月21日・22日には「関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会」が開催されます。栃木で開催されるのは10年ぶり、鹿沼市からは12名が参加されると伺っております。先進事例の紹介や意見交換など、多くのものを持ち帰っていただけると期待しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は撲滅された訳ではなく、また、全国的にインフルエンザが猛威を振るっております。鹿沼市でも学級閉鎖が相次いでおり、2つの感染症への警戒は予断を許さない状況です。市民の皆様、特に子どもたちが安心して日常生活を再び送れるようになるには、まだ時間がかかることと思ひます。委員の皆様におかれましては、感染症対策を行いつつも、可能な範囲で地域に根差した活動を継続していただき、一日も早く平穏な日常が取り戻せるよう、ご協力いただければ幸いに存じます。</p> <p>本日は、今年度上半期の公民館等の取り組み実績や下半期の計画についてご報告させていただきます。つきましては、委員の皆様、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶といたします。</p>

3. 審議及び報告事項

(金子課長) 条例第6条第2項により、委員長に会議の議長をお願いします。

(山本委員長) 定めにより議長を務めます。

■審議事項の(1)「令和5年度上半期 公民館等の事業実績報告について」

(事務局) 資料1に沿って説明。質疑

(竹澤委員) 板荷公民館と菊沢公民館で開催された「とちぎ子ども未来創造大学講座」の参加者、講座内容について説明を求める。

(事務局) 事業の趣旨、概要、講座内容について説明。市外在住者も応募対象なので地元の児童生徒が何人参加しているのか不明。

(山根委員) 学童保育クラブと放課後子ども教室の違いについて説明を求める。

(事務局) それぞれの制度を説明

(福島委員) 配布された資料について、公民館の主催事業だけの掲載では全体が見えない。地域では様々な社会教育が実践されているはず。また上半期の実績を踏まえた課題等の分析がされていないようである。

(事務局) この会議では市が主催運営しているものを中心に報告している。民間、地域の活動をすべて把握することはむずかしい。分析については、公民館、生涯学習課それぞれ事業実施後に反省点、改善点をアンケート等で把握し次の事業に反映させていると思う。公民館利用者のすべての状況を報告書に盛り込むことは難しいが資料作成については今後も工夫していきたい。

(山根委員) 資料6ページ公民館事業のうち夏休みの学習室開放について。旧市内には情報センターや図書館があり子どもの学習の場が確保されている。町場を離れるとそのような場がない。もっとコミセンを開放してはどうか。資料に記載がない公民館は実施していないのか。

(事務局) 今回は南摩公民館のみ報告にあげているがほかの地区でも学習室の開放を実施している。今後掲載するようにする。

(山根委員) まちづくり出前講座について。人気のある講座は何か、講座メニューは増やせないか

(事務局) 人気のある講座を紹介。メニューは年1度全庁的に調査し決定している。メニューにのっていない講座もできるかぎり対応している。

■審議事項の(2)「令和5年度下半期 公民館等の事業実績計画について」

(事務局) 資料2に沿って説明。質疑

(福島委員) コミュニティスクールについて。私は学校運営協議会の委員を努めているが地区の人口が減り、学校のボランティアに参加できる父兄も減ってしまった。ボランティアでできることにも限界があり、除草や樹木選定については市できちんと予算化すべきと考える。今後、南押原地区だけでなく、ほかにもこのような地区が増えてくるのではないか

(事務局) 資料に掲載されている学校ボランティアの活動を拝見すると、本当に多くの地域の方が学校を支援してくださっており、ありがたく思っている。過疎化が進んでいる地域の学校ではボランティア確保が難しいという声も届いている。今後コミュニティスクールの話し合いの中でこのような話題も出していただき、より良い解決策を見いだせればと考えている。

■審議事項の(3) 関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について

(事務局) 資料3月に沿って日程、内容の説明。

■審議事項の(4) 秋の褒章 KLV協会が緑綬褒章を受章

<p>(事務局) K L V協会の活動実績等を紹介</p> <p>■ (5) その他</p> <p>(藤沼委員) 先ほどの協議のなかでボランティアが集まらないことについて。若者のなかにはボランティアに興味のある人がいると思うので市で呼びかけたらどうか。例えば農家の手伝いをして、その地域の農産物をもらえる等お互いがウィンウィンの関係になれるような方策があるのではと思う。今の若い人はインターネットをよく使っているのでうまくネットを活用して市で呼びかければやりたい若者いるのではないか。</p> <p>(山本委員長) コミュニティスクールは学校が地域を守るというスタンスで始まっている。他の学校の成功事例を知ったり、お互いがうまく繋がりあえるといいですね。</p> <p>(福島委員) でもそれが難しい地域がでてきている。今は地域の若い人たちがコミュニケーションを図る機会がない。子どものうちから少しでも地元へ愛着がもてるような教育をしてほしい。</p> <p>4. その他</p> <p>事務局より連絡事項2件</p> <p>(1) 冊子「社教情報89号」を配布</p> <p>(2) 会議終了後、引き続き「第6回かぬまかるた大会」自主学習会を開催</p>			
配布資料	次第、資料1～3		
次回予定	未定		
記録者	生涯学習係 湯澤伸夫		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0人